

つぶやきがんちゃんの

# 生活知恵袋



せいいかつちえぶくろ

Vol. 116



今月のテーマ

## 意外な顛末、全ての結果に原因や理由がある

先月号では、夜中の自分の体に起きた異変から始まることをネタにして書いたが、その後に思ひぬ展開が待っていた。夜中の3時頃に起きた体の変調は、これで終わりではなく始まりだったのである。その後に次から次に様々な症状があらわれ始めた。最初は風邪でもひいたのだろうと思っていたが、一向に症状は改善しない。お客様からも“何か調子が悪いの?”と声を掛けられる始末で、何とも情けない話だ。“お迎えが来たのか…”などとボケてみたものの、これではシャレにならない…。自分の事をネタにするようで、読者の皆さんから叱りを受けそうだが、自己反省を兼ねて、あえて取り上げてみた。因みに病気は心配なものではなく、薬で改善できるものであるとのことだったので心配をかけていた方には、本当にごめんなさいである。普段偉そうに講釈を垂れているものとして実にお恥ずかしい限りで、ましてや、前号のタイトルが「新年を展望し決断・行動へ」だったにも拘わらず、自身の健康管理には行動が足りていなかったことを先ずは自己反省せねばならない。

さて、ここからは表題にある通り、全ての現象や結果において、原因・理由があるということを考えてみよう。私の体の異変も、その後の症状も明確な理由があったにも拘らず、自らの分析・診断ではなくお客様からの指摘を受けてからの行動だったのである。「灯台下暗し」、「医者の不養生」、「紺屋の白袴」などなど、これらはいずれも他人に対することは出来ていても、自らのこととなると見えていないもので、手が回らなかったり、おろそかになりがちであることを戒めていることわざである。誰がというよりは、大なり小なり多くの人に共通することと言える。ということは、改めて自分のことはよく見えていないものであることを前提として考えなければならないようだ。新年早々から反省から始まるようで恐縮ではあるが、今年の1年そして将来を展望するために大事なことだろう。

何度も繰り返すようであるが、自分のことがよく見えていないとすれば、これはある意味とても厄介だ。“俺のことは俺が一番分かっている。余計な口出しはするな”などと頑なな態度をとってしまうと、誰も指摘してくれなくなってしまう。最も恐ろしいことは周りの人は分かっているのに、誰からも教えてもらえず笑いものになりかねないことだ。そつ、「裸の王様」である。他人様の意見を素直に聞くいう謙虚さが必要となってくる。人は年を重ねるごとに先輩後輩、職場の上下関係、社会的的地位などなど、本人の人性や人格とは別のところで、プライドやコンプレックスが本人の自覚とは別のところでまとわりついてしまっていることもある。これが、時には人を見下したり、時には逆ギレなどという形になつて、軋轢をもたらしてしまう。それだけではない、積み重ねた経験や知識までもが邪魔をすることさえある。そう、思い込みである。自分だけは騙されないという方が詐欺にあつたり、思い込みの議論は人の話を聞き入れず、譲らない主張は振り上げた拳を下ろせなくしてしまう。“お前の考えは間違っている、いやお前こそ間違っている”といふ議論をみたことがないだろうか…。正しいという思い込みをしている者同士が、いくら間違っていると言つたところでもはや到達点はない。もはや、可笑し

● 灯台下暗し  
何度も繰り返すようであるが、自分のことがよく見えていないとすれば、これはある意味とても厄介だ。“俺のことは俺が一番分かっている。余計な口出しはするな”などと頑なな態度をとってしまうと、誰も指摘してくれなくなってしまう。最も恐ろしいことは周りの人は分かっているのに、誰からも教えてもらえず笑いものになりかねないことだ。そつ、「裸の王様」である。他人様の意見を素直に聞くいう謙虚さが必要となってくる。人は年を重ねるごとに先輩後輩、職場の上下関係、社会的的地位などなど、本人の人性や人格とは別のところで、プライドやコンプレックスが本人の自覚とは別のところでまとわりついてしまっていることもある。これが、時には人を見下したり、時には逆ギレなどといふ形になつて、軋轢をもたらしてしまう。それだけではない、積み重ねた経験や知識までもが邪魔をすることさえある。そう、思い込みである。自分だけは騙されないという方が詐欺



一生懸命  
つぶやきます  
齋藤廣勝 (さいとう ひろかつ)  
株式会社トータルライフサポート代表取締役  
・CFF®ライティファイアードファインシャルプランナー  
・1級ファイナンシャルプランニング技能士  
・日本商工会議所 年金・退職金等認定講師  
・住宅ローンアドバイザー  
・金融広報アドバイザー

### 保険と暮らしの相談センター

あなたの夢の実現へのお手伝い!!

お気軽にご相談ください。

**TLS** total life support 募集代理店 株式会社 トータルライフサポート

〒010-0916 秋田市泉北3丁目17-22  
●営業時間／9:30~18:30(土・日・祝9:30~17:00)  
●定休日／水曜日

TEL 018-827-7611  
Fax 018-827-7610  
URL <http://tls-akita.co.jp>

相談メニュー

- 家計の総合診断(ライフプラン)
- 保険加入・見直し(生命保険・損害保険)
- 住宅取得、住宅ローンの見直し
- 子どもの教育資金計画
- 年金・老後資金計画

相談料は無料です!!

詳細はホームページでもご覧いただけます。

地図

くもある。「実るほど頭を垂れる稻穂かな」でありたいのだ。人の意見に対し、そういう見方もあるのか、なぜそう思うのかに気付きと学びの姿勢を持ちたいものだ。



### ●自分自身を客観視するには

先にも述べたように、とかく自分のことは見えないものである以上、人様の意見や専門家の意見を賛く利用したいものだ。一部の意見や断片的な知識は間違った判断をしかねないし、最悪な場合、取り返しのつかない事態をも招いてしまう。私自身、前段に書いた自身の体の変調で、改めてドクターの診察を受けようとしたのは、お客様からの度々の「斎藤さん調子悪いの?」という声からだった。まさに客観視出来ていないところへの、周りの方々からの指摘を受けてのことだったのである。それまでは、風邪でも引いたのかな「位にしか思っておらず、アルコール消毒(晩酌)が足りないからなどとふざけたことを抜かしていたのであるが、最後に背中を押してくれたのが、親交の深いお客様でありドクターのお宅を訪問した時の的確なアドバイスであった。私の変調を聞くや否や、すぐさまに病院の診断を受ける状態であることを指摘してくれた。測つてもいいのに血圧が高い状態であることも見抜いていた。家に帰るや否や測定してみて、びっくりほんなんじゃこりや。。。かくして、翌日に診断を受けるべく、これまでの変調を紙に書き留めた項目が14項目、それが持つてしていざ診察に!早速検査の上、病名が判明し、大事に至る前に治療開始と相成ったのである。めでたし、めでたし。。。こんなもんで、全然「客観視」出来ていないのだが、客観視する必要性や意識はあったとしても、なかなか出来ないのが人の常なのである。仮に客観視出来たところで、正確な判断が出来るかというとそうではない。正確な判断をするためには、それなりの知識や経験も

必要だからである。特に、専門的な知識をする弁護士や医者という職業の下す判断はご承知の通りだ。つまりは、客観視というのは自分で判断を下すのが全てではなく、専門家の診断を受けるということだが、とりわけ重要なこととなるのである。

### ●家計の診断と見直しについて

米国（アメリカ）では、「ファイナンシャル・プランニング」という手法は1920年代に登場し、今や医師や弁護士と並んで生活に必要な職業とされている。お金に関連することについて悩んだら、FPに相談することが当たり前のことになっている。まさに「家計のホームドクター®」だ。日本では1980年代になって協会が発足し、1993年に第1回のCFP®試験がスタート、2002年には国家資格としての技能検定が行われ、比較的に新しい資格だ。他の専門職と比較しても、FP相談を受けている所は多くはないが、今後は間違いなく増えていくものと思われる。私自身も身体上の自己反省を踏まえ、読者のみなさんの情報発信の在り方の視点・スタイルを変えようと思っている。「Hー・クラス」においても、情報や知識の伝達に止まらずに、皆さんのが客観的に家計の事をとらえ、真摯に将来に向かい合つていくことを望みたい。家計改善に対する「対症療法」を提案しても、根本的な体質改善がされない限り、元のもくあみ「となってしまい、根本的な解決には至らない。クライアントの皆様が、意識を変えようとしない限りは、FPの職務としての「ゴールには到達出来ないのかもしねれない。皆さんにとっても、将来設計を立て、目標や目的を的確に意識し、家計の体質改善を図らない限りは、本当の意味でのファイナンシャル・ゴール（将来設計上の安心の確保）は無い」と言って良いのではないかだろうか??。

### ●全ての結果に原因や理由がある

私たちの暮らしを取巻く事象や結果には、何かしらの原因や理由がある。結果として、しっかりと貯蓄が出来ている家計も、無駄遣いしているつもりは無くともなかなか貯められない悩む家計も、殆どの場合で原因や理由が存在する。所得が多いから、少ないからというくらいは必ずしも成り立たないし、例えば違うものの、あの吉田輝星君の残した結果も、恵まれた体があつたから“という理由だけでは説明がつかないのは皆さんもご承知の通りだらう。では、その結果を招いた理由は何なのか?多くの場合、単一的なものではなく複数の理由が存在していると考えられるが、対症療法に止まらずに根本的な問題解決を図るには、その原因・理由を探らなければならない。相談に乗つていても、なかなか解決に至らないケースの場合、出来ない理由が先に存在し、その原因究明の行く手を阻んでいることが良くある。もっと大きな問題は、本当は薄々問題が分かっていても、そのまま現実から目を背けよう（現実逃避）としているケースだ。原因や理由が分かっていても、自力で解決するには難しいこともあるが、そんな時は専門とする人の力を借りればいい。謙虚な姿勢と少しの勇気があれば、解決の糸口はきっと見えてくるはずだ。古い話と言われるかもしれないが、あの東日本大震災の中でも勇気と希望の湧く、ツイッターの投稿があつた。

### ●来月号は

新年早々に、説教じみた事を言うようだが、私にとっての「ファイナンシャル・プランナー」という立ち位置は「家計のホームドクター®」というよりは、常にお客様に寄り添い、一緒に考え行動するパートナーであるべきと思う2019年の年頭所感だ。

”暗すぎて今までに見たこともないくらい星が綺麗だよ。  
仙台のみんな、上を向くんだ。“  
暗闇の中だからこそ見えてくるものもあるし、静寂の中だからこそ聞こえるものもある…。今からできることがありますを始めてみよう。